



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月27日

上場会社名 ハウス食品グループ本社株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2810 URL http://housefoods-group.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦上 博史
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 柴田 亮 (TEL) 03-5211-6039
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	214,414	21.6	11,300	18.4	12,260	13.3	8,900	△61.6
28年3月期第3四半期	176,265	△1.8	9,541	15.1	10,819	12.1	23,180	253.4

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 6,903百万円(△69.0%) 28年3月期第3四半期 22,293百万円(83.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	86.66	—
28年3月期第3四半期	225.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	353,946	263,101	65.4	2,254.44
28年3月期	349,427	260,329	65.5	2,231.86

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 231,651百万円 28年3月期 228,812百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
29年3月期	—	15.00	—		
29年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	285,300	17.9	11,000	2.1	11,500	△5.4	7,300	△67.7	71.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 2社 (社名) 株式会社ギャバン、除外 1社 (社名)
浙江ハウス食品有限会社

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

詳細はP5「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年3月期3Q	102,758,690株	28年3月期	102,758,690株
29年3月期3Q	5,192株	28年3月期	237,762株
29年3月期3Q	102,706,848株	28年3月期3Q	102,717,790株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- その他、業績予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(企業結合等関係)	13
4. 補足情報	14
(1) 業績の状況	14
(2) グループ会社数	15
(3) 連結損益計算書の状況	15
(4) 連結貸借対照表の状況	17
(5) 設備投資の状況	18
(6) 減価償却費の状況	18
(7) 主要経営指標等	18
(8) 通期目標	19

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経営環境は、国際経済の不確実性の高まりなどを背景に全体では先行き不透明感が強まりました。食品業界におきましては、国内市場の成熟化の進展に加え、消費マインドも一部に弱さがみられるなど、依然として予断を許さない状況が続いております。

このような環境下におきまして、当社グループは、前連結会計年度より開始した第五次中期計画の2年目を迎え、“「食で健康」クオリティ企業への変革”をテーマに、国内事業の収益力強化と新規需要の創出、海外事業の成長加速に向けた施策を進めております。

売上面につきましては、香辛・調味加工食品事業、その他食品関連事業が好調に推移したことに加え、(株)壺番屋及び(株)ギャバンの新規連結効果が寄与したことで、為替の影響による海外関係会社の円換算額の減少を吸収した結果、第3四半期連結累計期間の売上高は2,144億14百万円、前年同期比21.6%の増収となりました。

利益面につきましては、増収効果に加え、コストコントロールを推進したことなどにより、営業利益は113億円、前年同期比18.4%の増益となりました。経常利益は122億60百万円、前年同期比13.3%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期に(株)壺番屋の連結子会社化に伴う特別利益を計上いたしました影響から89億円、前年同期比61.6%の減益となりました。

セグメント別の業績の概況（セグメント間取引消去前）は、次のとおりであります。

事業の種類別 セグメント	売上高		営業利益 (セグメント利益又は損失(△))	
	金額(百万円)	前年同期比(%)	金額(百万円)	前年同期比(%)
香辛・調味加工食品事業	100,389	109.4	8,133	126.5
健康食品事業	27,215	98.1	1,953	110.1
海外食品事業	13,176	92.7	1,243	105.8
外食事業	37,803	713.5	△158	—
その他食品関連事業	47,402	102.8	788	530.0
小計	225,986	122.0	11,960	125.0
調整(消去)	△11,572	—	△659	—
合計	214,414	121.6	11,300	118.4

(注) 1. 調整(消去)の内容は、セグメントに配分していない損益およびセグメント間取引に係る相殺消去であります。

2. 前連結会計年度より、各セグメントへの配分方法および区分方法を変更しております。詳細は、P11「3. 四半期連結財務諸表(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」をご覧ください。

<香辛・調味加工食品事業>

当事業セグメントは、「食の外部化」などの事業を取り巻く環境変化に対し、「より健康、より上質、より簡便、より適量」にフォーカスした製品・サービスの提供を通じて、「既存領域の強化」および「新規領域の展開」に取り組んでおります。

ルウカレーは、天候不順や野菜価格高騰の影響を受ける中でも底堅く推移いたしました。レトルトカレーは主力の「カレー屋カレー」に加え、複数パックの「プロクオリティ」が牽引し、売上を伸ばしております。またスパイス製品、業務用製品も好調な推移となりました。

以上のほか、第2四半期連結会計期間より(株)ギャバンを連結業績に組み入れたこともあり、香辛・調味加工食品事業の売上高は1,003億89百万円、前年同期比9.4%の増収、営業利益は81億33百万円、前年同期比26.5%の増益となりました。

<健康食品事業>

当事業セグメントは、主力製品の収益改善と成長に向けた仕込みに取り組んでおります。

「ウコンの力」は、お客様の飲酒シーンが多様化する中、ミドル・ライトユーザーの需要喚起に注力いたしましたが、シリーズ全体の売上は前年を下回りました。

ビタミン製品は、P E T製品が低調な推移となったものの、育成に努める「1日分のビタミン」がお客様のご支持をいただき、全体では前年を上回る結果となりました。

以上の結果、健康食品事業の売上高は272億15百万円、前年同期比1.9%の減収となりました。利益面ではコストコントロールを徹底したことなどにより、営業利益は19億53百万円、前年同期比10.1%の増益となりました。

<海外食品事業>

当事業セグメントは、重点3エリア（米国・中国・東南アジア）における事業拡大のスピードアップと収益力強化に取り組んでおります。

米国事業は、健康志向の高まりを背景に豆腐製品やオーガニック製品が取扱いを拡大しているほか、豆腐関連製品を拡充し、新規顧客の獲得に努めております。

中国事業は、2018年秋頃を予定する第3工場の稼働を見据えた販売体制の再構築に取り組んでおり、着実に事業基盤を強化しております。

東南アジア事業は、タイにおける機能性飲料事業が取扱いを伸ばし、順調に推移しております。

なお、米国事業、中国事業とも円高による影響で円換算では減収となりましたが、現地通貨ベースでは増収となりました。また東南アジア事業は、前期が決算日の変更による9カ月の変則決算であった影響を受けております。

以上の結果、海外食品事業の売上高は131億76百万円、前年同期比7.3%の減収、営業利益は12億43百万円、前年同期比5.8%の増益となりました。

<外食事業>

当事業セグメントは、国内外でのカレーレストランの運営を通じて、カレーの世界をさらに広げるべく取り組んでおります。

㈱壺番屋は、既存店の売上強化を最重点課題としてQ S C向上や利便性の向上を図るなど、店舗の魅力を高める様々な取組を行った結果、堅調に推移いたしました。

アジアレストラン事業は、特に中国において競合激化の影響を受ける中、個別店舗の採算性の向上に取り組んでおります。

以上の結果、外食事業の売上高は、㈱壺番屋の新規連結効果が大きく寄与し378億3百万円、前年同期比613.5%の増収となりました。利益面では㈱壺番屋のグループ化に伴うのれん等の償却負担もあり、1億58百万円の営業損失（前年同期は営業利益46百万円）となりました。

なお、平成27年12月に㈱壺番屋をグループに迎えて以降、両社の役割分担や経営資源の最適配分について検討を進めてまいりました結果、これまで当社国際事業本部主導で運営してまいりました中国、台湾におけるレストラン事業を㈱壺番屋主導の体制へ再編することを決定しております。

<その他食品関連事業>

当事業セグメント各社は、各機能の強化とグループ間シナジーの追求によるグループ総合力の向上に努めております。

運送・倉庫事業を営むハウス物流サービス(株)は、収益構造の改善に向けて、事業構造の見直しやコスト競争力の強化に取り組んでおります。

コンビニエンスストア向けの総菜等製造事業を営む(株)デリカシェフは、総菜新工場稼働に伴う初期コストが解消したほか、生産能力増強と生産効率向上に努め、収益力を改善しております。

平成28年4月に(株)堀江大和屋を吸収合併した(株)ヴォークス・トレーディングは、経営資源の集約化、調達・販売力の強化に取り組んでおります。

以上の結果、その他食品関連事業の売上高は474億2百万円、前年同期比2.8%の増収、営業利益は7億88百万円、前年同期比430.0%の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、3,539億46百万円となり、前連結会計年度末に比べて45億20百万円の増加となりました。

流動資産は、㈱ギャバンを連結子会社化した影響等により受取手形及び売掛金や現金及び預金が増加したことなどから、168億91百万円増加の1,358億38百万円となりました。固定資産は、㈱ギャバンを連結子会社化した影響等により土地が増加した一方で、投資有価証券、のれんおよび長期預金が増加したことなどから、123億71百万円減少の2,181億9百万円となりました。

負債は908億45百万円となり、前連結会計年度末に比べて17億48百万円の増加となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が増加したことなどから、26億76百万円増加の534億90百万円となりました。固定負債は、繰延税金負債が取崩により減少したことなどから、9億28百万円減少の373億56百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が減少した一方、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により増加したことなどから、前連結会計年度末に比べて27億72百万円増加の2,631億1百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は65.4%（前連結会計年度末は65.5%）、1株当たり純資産は2,254円44銭（前連結会計年度末は2,231円86銭）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績につきましては、平成28年10月31日発表の業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、第1四半期連結会計期間において、㈱ギャバンの普通株式に対する公開買付けを通じて同社株式を取得いたしました。この結果、㈱ギャバンに対する当社の議決権所有割合は50%超となったため、第1四半期連結会計期間より、同社および同社の連結子会社であるギャバンスパイスマニュファクチャリング株式有限責任会社を連結の範囲に含めております。

また、第2四半期連結会計期間において、当社は㈱ギャバンの普通株式を追加取得し、完全子会社化いたしました。

なお、㈱ギャバンの資本金の額が当社の資本金の額の100分の10に相当する額以上であることから、同社は当社の特定子会社に該当いたします。

当連結子会社の取得日は平成28年6月30日であるため、当第3四半期連結累計期間においては平成28年7月1日から平成28年12月31日までの業績が含まれております。また、当第3四半期連結会計期間の属する連結会計年度の連結財務諸表に重要な影響を与える見込みです。当該影響の概要は、連結貸借対照表における総資産および総負債額の増加、連結損益及び包括利益計算書における売上高等の増加および連結キャッシュ・フロー計算書における営業活動によるキャッシュ・フロー等の増減であります。

また、平成28年5月に設立した浙江ハウス食品(有)に対し、平成28年12月に増資を実施いたしました。この増資により同社の資本金の額が当社の資本金の額の100分の10に相当する額以上となったため、同社は当社の特定子会社に該当することとなりました。

さらに、平成28年4月に、㈱ヴォークス・トレーディングを存続会社、㈱堀江大和屋を消滅会社とする吸収合併を行いました。この結果、㈱堀江大和屋は消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、「法人税、住民税及び事業税」および「法人税等調整額」を「法人税等」として一括掲記しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(連結子会社の社名の変更)

(株)ヴォークス・トレーディングインドネシアは、平成28年5月に(株)ハウス&ヴォークスインドネシアへと社名を変更いたしました。

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

当第3四半期連結累計期間において、連結子会社のうち、(株)壺番屋は、決算日を5月末日から2月末日へ、イチバンヤUSA Inc.、壺番屋国際香港(有)および壺番屋香港(有)は、決算日を3月末日から12月末日へ変更しております。

なお、当該変更による当第3四半期連結累計期間に与える影響はありません。

(表示方法の変更)

(レストラン経営にかかる表示方法の変更)

前連結会計年度より、一部の連結子会社において売上原価に計上していたレストラン経営にかかる店舗諸経費等について、販売費及び一般管理費に計上する方法に変更しております。

この変更は、(株)壺番屋グループを連結の範囲に含め、新たに外食事業セグメントを設けたことにより、グループの業績を統一した方法で管理し、営業活動の成果をより適切に表示するために行ったものであります。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替を行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益及び包括利益計算書の売上原価が3,300百万円減少し、売上総利益および販売費及び一般管理費が同額増加しておりますので、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)

前連結会計年度より、「営業外収益」の「その他」に含めていた「受取家賃」について、金額的重要性が増したため独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替を行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益及び包括利益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた209百万円は、「受取家賃」1百万円、「その他」208百万円として組み替えております。

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,128	47,685
受取手形及び売掛金	43,140	54,923
有価証券	10,009	8,836
商品及び製品	9,628	9,458
仕掛品	1,563	1,855
原材料及び貯蔵品	3,723	4,499
繰延税金資産	2,397	2,756
その他	4,499	5,966
貸倒引当金	△141	△141
流動資産合計	118,947	135,838
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,848	28,743
機械装置及び運搬具（純額）	11,722	11,752
土地	28,851	30,397
リース資産（純額）	4,400	4,096
建設仮勘定	1,140	837
その他（純額）	2,261	2,133
有形固定資産合計	77,223	77,957
無形固定資産		
のれん	16,542	13,858
商標権	26,570	26,084
ソフトウェア	2,109	2,112
契約関連無形資産	28,753	28,029
ソフトウェア仮勘定	89	73
その他	736	666
無形固定資産合計	74,799	70,823
投資その他の資産		
投資有価証券	68,800	61,508
長期貸付金	360	356
繰延税金資産	2,247	2,229
長期預金	2,500	500
退職給付に係る資産	285	275
破産更生債権等	719	689
その他	4,441	4,642
貸倒引当金	△893	△870
投資その他の資産合計	78,458	69,329
固定資産合計	230,480	218,109
資産合計	349,427	353,946

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,749	22,058
電子記録債務	1,540	1,351
短期借入金	6,849	6,142
リース債務	733	654
未払金	13,887	14,282
未払法人税等	2,810	2,711
賞与引当金	129	124
役員賞与引当金	68	43
株主優待引当金	75	81
資産除去債務	3	3
その他	5,971	6,040
流動負債合計	50,814	53,490
固定負債		
長期借入金	824	635
リース債務	3,745	3,493
長期未払金	319	336
繰延税金負債	25,330	24,398
債務保証損失引当金	6	4
退職給付に係る負債	4,668	4,540
資産除去債務	711	718
その他	2,681	3,232
固定負債合計	38,284	37,356
負債合計	89,098	90,845
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,948	9,948
資本剰余金	23,927	23,446
利益剰余金	176,898	182,718
自己株式	△516	△12
株主資本合計	210,257	216,101
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,294	18,236
繰延ヘッジ損益	△19	△36
為替換算調整勘定	2,410	△876
退職給付に係る調整累計額	△2,128	△1,775
その他の包括利益累計額合計	18,555	15,550
非支配株主持分	31,517	31,450
純資産合計	260,329	263,101
負債純資産合計	349,427	353,946

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	176,265	214,414
売上原価	100,220	120,351
売上総利益	76,045	94,063
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	7,649	7,292
運送費及び保管費	5,092	6,891
販売手数料	1,773	1,861
販売促進費	22,688	23,337
給料手当及び賞与	11,563	16,347
役員賞与引当金繰入額	51	53
減価償却費	1,044	2,828
のれん償却額	121	2,684
賃借料	1,968	3,047
試験研究費	2,637	2,798
その他	11,918	15,626
販売費及び一般管理費合計	66,504	82,763
営業利益	9,541	11,300
営業外収益		
受取利息	373	294
受取配当金	347	355
持分法による投資利益	585	52
受取家賃	1	564
為替差益	71	193
その他	208	213
営業外収益合計	1,585	1,671
営業外費用		
支払利息	69	61
賃貸費用	—	475
その他	238	176
営業外費用合計	308	712
経常利益	10,819	12,260

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	2	4
投資有価証券売却益	3,129	146
店舗売却益	—	119
段階取得に係る差益	13,851	448
負ののれん発生益	—	1,018
その他	0	70
特別利益合計	16,982	1,806
特別損失		
固定資産売却損	0	6
固定資産除却損	155	201
投資有価証券売却損	2	—
減損損失	—	625
その他	41	56
特別損失合計	197	888
税金等調整前四半期純利益	27,604	13,178
法人税等	4,275	3,017
四半期純利益	23,329	10,161
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,180	8,900
非支配株主に帰属する四半期純利益	149	1,261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△110	8
繰延ヘッジ損益	△136	△86
為替換算調整勘定	△327	△3,494
退職給付に係る調整額	△364	338
持分法適用会社に対する持分相当額	△99	△25
その他の包括利益合計	△1,036	△3,258
四半期包括利益	22,293	6,903
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,307	5,895
非支配株主に係る四半期包括利益	△15	1,008

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)2
	香辛・ 調味加工 食品事業	健康食品 事業	海外食品 事業	外食事業	その他 食品 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	91,410	27,610	14,068	5,298	37,838	176,224	—	176,224	41	176,265
セグメント間の内部 売上高又は振替高	369	146	147	—	8,275	8,936	—	8,936	△8,936	—
計	91,779	27,755	14,215	5,298	46,113	185,160	—	185,160	△8,894	176,265
セグメント利益	6,428	1,774	1,174	46	149	9,570	—	9,570	△29	9,541

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、主に当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益には、事業セグメントに配分していない当社およびハウスビジネスパートナーズ(株)の損益△29百万円、セグメント間取引消去△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第3四半期連結会計期間において、(株)老番屋の普通株式を追加取得し、連結範囲に含めた事により、前連結会計年度の末日に比べ、「外食事業」のセグメント資産が69,791百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、(株)老番屋の普通株式を追加取得し、連結範囲に含めた事により、「外食事業」のセグメントにおいて、のれんが17,083百万円増加しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)2
	香辛・ 調味加工 食品事業	健康食品 事業	海外食品 事業	外食事業	その他 食品 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	97,207	27,051	13,023	37,794	39,299	214,375	—	214,375	39	214,414
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,182	164	152	9	8,103	11,611	—	11,611	△11,611	—
計	100,389	27,215	13,176	37,803	47,402	225,986	—	225,986	△11,572	214,414
セグメント利益又は損 失(△)	8,133	1,953	1,243	△158	788	11,960	—	11,960	△659	11,300

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、主に当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)には、事業セグメントに配分していない当社およびハウスビジネスパートナーズ(株)の損益△659百万円、セグメント間取引消去△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第1四半期連結会計期間において、(株)ギャバンの普通株式を追加取得し、連結範囲に含めた事により、前連結会計年度の末日に比べ、「香辛・調味加工食品事業」のセグメント資産が10,770百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、店舗資産および賃貸資産等の収益性の低下に伴う減損損失を、「外食事業」のセグメントにおいて、625百万円計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

前第3四半期連結会計期間に実施した(株)壺番屋の企業結合に係る暫定的な会計処理は、前連結会計年度末に確定しております。この暫定的な会計処理の確定に伴い、前第3四半期連結累計期間ののれんの金額の重要な変動は、当該見直し反映後のものを記載しております。

(重要な負ののれん発生益)

第1四半期連結会計期間において、(株)ギャバンの普通株式を追加取得し、連結範囲に含めた事により、「香辛・調味加工食品事業」のセグメントにおいて、負ののれん発生益を1,018百万円計上しております。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分方法の変更)

前連結会計年度において、(株)壺番屋の普通株式を追加取得し、連結範囲に含めた事により、報告セグメント「外食事業」を追加しております。これに伴い、従来「海外食品事業」に含まれていた、ハウスフーズアメリカCorp.の外食事業、ハウスレストラン管理(上海)(有)、ハウス美家レストラン管理(北京)(有)、ハウスレストラン管理(広州)(有)、台湾カレーハウスレストラン(株)、韓国カレーハウス(株)を「外食事業」へ含めております。また、外食事業セグメント新設に伴い、「海外事業」から「海外食品事業」へ名称変更をしております。

なお、当第3四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第3四半期累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法にて記載しております。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

企業結合に係る暫定的な会計処理の確定

平成28年6月30日に行われた㈱ギャバンとの企業結合について、第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第3四半期連結会計期間において確定しております。

なお、のれんの金額に修正は生じておりません。

4. 補足情報

当社は、平成27年12月に(株)壹番屋の株式を追加取得して連結子会社化したことに伴い、セグメント区分の見直しを行い、新たに「外食事業」セグメントを追加しております。これに伴い、「海外事業」を「海外食品事業」へ名称変更し、当事業セグメントに区分しておりましたレストラン事業を「外食事業」へ移管しております。また、各セグメント実績をセグメント間取引消去前の数値を記載する方法へ変更しております。

(1) 業績の状況

《連 結》

(単位：百万円)

	16.3期第3四半期 累計期間		17.3期第3四半期 累計期間		16.3期 通期		17.3期 通期修正目標	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売 上 高	176,265	98.2%	214,414	121.6%	241,893	104.5%	285,300	117.9%
営 業 利 益	9,541	115.1%	11,300	118.4%	10,775	124.0%	11,000	102.1%
経 常 利 益	10,819	112.1%	12,260	113.3%	12,152	110.9%	11,500	94.6%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	23,180	353.4%	8,900	38.4%	22,632	324.6%	7,300	32.3%
包 括 利 益	22,293	183.4%	6,903	31.0%	12,787	58.7%	—	—

《事業セグメント別売上高の状況》

(旧セグメントベース)

売 上 高	金額	構成比
香辛・調味加工食品事業	91,434	51.9%
健康食品事業	27,269	15.5%
海外事業	19,682	11.1%
その他食品関連事業	37,838	21.5%
調 整 額	41	0.0%

(16.3期以降に適用するセグメントベース)

売 上 高	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
香辛・調味加工食品事業	91,779	52.1%	100,389	46.8%	120,018	49.6%	133,100	46.7%
健康食品事業	27,755	15.7%	27,215	12.7%	34,523	14.3%	34,300	12.0%
海外食品事業	14,215	8.1%	13,176	6.2%	18,577	7.7%	18,100	6.3%
外 食 事 業	5,298	3.0%	37,803	17.6%	18,312	7.6%	51,000	17.9%
その他食品関連事業	46,113	26.1%	47,402	22.1%	62,718	25.9%	63,600	22.3%
調 整 額	△ 8,894	△ 5.0%	△ 11,572	△ 5.4%	△ 12,256	△ 5.1%	△ 14,800	△ 5.2%

《事業セグメント別営業利益の状況》

(旧セグメントベース)

営 業 利 益	金額	構成比
香辛・調味加工食品事業	6,423	67.3%
健康食品事業	1,672	17.5%
海外事業	1,326	13.9%
その他食品関連事業	149	1.6%
調 整 額	△ 29	△ 0.3%

(16.3期以降に適用するセグメントベース)

営 業 利 益	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
香辛・調味加工食品事業	6,428	67.4%	8,133	72.0%	7,924	73.6%	8,900	80.9%
健康食品事業	1,774	18.6%	1,953	17.3%	1,398	13.0%	1,600	14.6%
海外食品事業	1,174	12.3%	1,243	11.0%	1,381	12.8%	1,200	10.9%
外 食 事 業	46	0.5%	△ 158	△ 1.4%	44	0.4%	△ 250	△ 2.3%
その他食品関連事業	149	1.5%	788	6.9%	101	0.9%	750	6.8%
調 整 額	△ 29	△ 0.3%	△ 659	△ 5.8%	△ 73	△ 0.7%	△ 1,200	△ 10.9%

(2) グループ会社数

	16.3期第3四半期 累計期間	17.3期第3四半期 累計期間	16.3期
連結子会社数	32社	36社	34社
国内	14社	14社	14社
海外	18社	22社	20社
持分法適用関連会社	3社	3社	3社
国内	1社	1社	1社
海外	2社	2社	2社

《17.3期第3四半期累計期間 主要子会社実績》

(単位：百万円)

	売上高		営業利益		四半期純利益	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
ハウス食品(株)	96,059	102.5%	7,741	112.2%	5,554	112.2%
ハウスウェルネスフーズ(株)	27,219	98.0%	1,955	110.0%	1,842	117.0%
ハウスフーズアメリカ社(連結)	8,200	89.2%	844	104.5%	499	106.2%
(株)巻番屋(連結)	33,515	—	3,702	—	2,534	—

※連結対象期間 ハウスフーズアメリカ社：2016年1月～9月 (株)巻番屋：2016年3月～11月

(3) 連結損益計算書の状況

① 連結損益計算書

(単位：百万円)

	16.3期第3四半期 累計期間		17.3期第3四半期 累計期間		対前期増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率
売上高	176,265	100.0%	214,414	100.0%	38,149	21.6%
《事業セグメント別》※16.3期以降に適用するセグメントベース						
香辛・調味加工食品事業	91,779	52.1%	100,389	46.8%	8,610	9.4%
健康食品事業	27,755	15.7%	27,215	12.7%	△540	△1.9%
海外食品事業	14,215	8.1%	13,176	6.1%	△1,039	△7.3%
外食事業	5,298	3.0%	37,803	17.6%	32,505	613.5%
その他食品関連事業	46,113	26.2%	47,402	22.1%	1,289	2.8%
調整額	△8,894	△5.0%	△11,572	△5.4%	△2,677	—
売上原価	100,220	56.9%	120,351	56.1%	20,131	20.1%
販売費・一般管理費	66,504	37.7%	82,763	38.6%	16,259	24.4%
広告宣伝費	7,649	4.3%	7,292	3.4%	△357	△4.7%
運送費及び保管費	5,092	2.9%	6,891	3.2%	1,799	35.3%
販売手数料	1,773	1.0%	1,861	0.9%	88	4.9%
販売促進費	22,688	12.9%	23,337	10.9%	649	2.9%
人件費	15,072	8.6%	21,414	10.0%	6,341	42.1%
試験研究費	2,637	1.5%	2,798	1.3%	161	6.1%
のれん償却額	121	0.1%	2,684	1.3%	2,562	2111.5%
営業利益	9,541	5.4%	11,300	5.3%	1,759	18.4%
営業外収益	1,585	0.9%	1,671	0.8%	86	5.4%
営業外費用	308	0.2%	712	0.3%	404	131.4%
経常利益	10,819	6.1%	12,260	5.7%	1,441	13.3%
特別利益	16,982	9.6%	1,806	0.8%	△15,176	△89.4%
特別損失	197	0.1%	888	0.4%	691	350.8%
税金等調整前四半期純利益	27,604	15.7%	13,178	6.1%	△14,426	△52.3%
法人税等	4,275	2.4%	3,017	1.4%	△1,258	△29.4%
四半期純利益	23,329	13.2%	10,161	4.7%	△13,168	△56.4%
(内訳)						
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,180	13.2%	8,900	4.2%	△14,280	△61.6%
非支配株主に帰属する四半期純利益	149	0.1%	1,261	0.6%	1,112	746.7%
四半期包括利益	22,293	12.6%	6,903	3.2%	△15,390	△69.0%

② 営業利益の主な増減要因（前年同期比較）

（単位：百万円）

売上総利益の増加	18,018
給与手当及び賞与の増加	△ 4,785
のれん償却額の増加	△ 2,562
運送費及び保管費の増加	△ 1,799
減価償却費の増加	△ 1,784
マーケティングコスト(広告宣伝費・販売手数料・販売促進費の合計)の増加	△ 379
その他費用の増加	△ 3,708

③ 営業外損益の主な増減内容

（単位：百万円）

	16. 3期第3四半期 累計期間	17. 3期第3四半期 累計期間	対前年同期増減
受取利息・有価証券利息	373	294	△ 79
受取配当金	347	355	9
持分法による投資利益	585	52	△ 534
為替差益	71	193	122
受取家賃	1	564	563
その他	208	213	5
営業外収益計	1,585	1,671	86
支払利息	69	61	△ 8
賃貸費用	—	475	475
その他	238	176	△ 62
営業外費用計	308	712	404

④ 特別損益の主な増減内容

（単位：百万円）

	16. 3期第3四半期 累計期間	17. 3期第3四半期 累計期間	対前年同期増減
固定資産売却益	2	4	2
投資有価証券売却益	3,129	146	△ 2,982
負ののれん発生益	—	1,018	1,018
店舗売却益	—	119	119
段階取得に係る差益	13,851	448	△ 13,403
その他	0	70	70
特別利益計	16,982	1,806	△ 15,176
固定資産売却損	0	6	6
固定資産除却損	155	201	47
投資有価証券売却損	2	—	△ 2
減損損失	—	625	625
その他	41	56	15
特別損失計	197	888	691

(4) 連結貸借対照表の状況

《連結貸借対照表の主な増減内容》

(単位：百万円)

	16.3期末		17.3期 第3四半期末		対前期末 増減	主な増減内容
	金額	構成比	金額	構成比	金額	
流動資産	118,947	34.0%	135,838	38.4%	16,891	受取手形及び売掛金の増加 11,782 現金及び預金の増加 3,557 原材料及び貯蔵品の増加 777
固定資産	230,480	66.0%	218,109	61.6%	△ 12,371	投資有価証券の減少 △7,292 のれんの減少 △2,684 長期預金の減少 △2,000 契約関連無形資産の減少 △725 土地の増加 1,546
資産合計	349,427	100.0%	353,946	100.0%	4,520	
流動負債	50,814	14.5%	53,490	15.1%	2,676	支払手形及び買掛金の増加 3,309 未払金の増加 395 短期借入金の減少 △707
固定負債	38,284	11.0%	37,356	10.6%	△ 928	繰延税金負債の減少 △932
負債合計	89,098	25.5%	90,845	25.7%	1,748	
その他の包括利益 累計額合計	18,555	5.3%	15,550	4.4%	△ 3,006	為替換算調整勘定の減少 △3,285 退職給付に係る調整累計額の増加 354
非支配株主持分	31,517	9.0%	31,450	8.9%	△ 67	
純資産合計	260,329	74.5%	263,101	74.3%	2,772	
負債純資産合計	349,427	100.0%	353,946	100.0%	4,520	

(5) 設備投資の状況

《連結》 (単位：百万円)

	16.3期第3四半期 累計期間	17.3期第3四半期 累計期間
設備投資	3,450	4,498
リース	404	373
合計	3,853	4,871

(6) 減価償却費の状況

《連結》 (単位：百万円)

	16.3期第3四半期 累計期間	17.3期第3四半期 累計期間
減価償却費	4,609	6,811
支払リース料	215	751
合計	4,824	7,562

※売買取引に係る方法に準じて資産計上を行っているリース物件の支払リース料相当は「減価償却費」に含めております。

(7) 主要経営指標等

《連結》

	17.3期第3四半期 累計期間	16.3期
一株当たり四半期(当期)純利益	86.66 円	220.48 円
一株当たり純資産	2,254.44 円	2,231.86 円
自己資本当期純利益率	—	10.1 %
総資産経常利益率	—	3.8 %
売上高経常利益率	5.7 %	5.0 %
総資本回転率	—	0.76 回
流動比率	254.0 %	234.1 %
固定比率	94.2 %	100.7 %
負債比率	39.2 %	38.9 %
自己資本比率	65.4 %	65.5 %
配当金(1株当たり)	—	30.00 円
配当性向	—	13.6 %
従業員数	6,694 人	6,376 人

◎休職者・嘱託・パートを含みません。

(8) 通期目標

《連結》

(単位：百万円)

	16.3期	17.3期 修正目標	対前期増減
《事業セグメント別》			
香辛・調味加工食品事業	120,018	133,100	13,082
健康食品事業	34,523	34,300	△ 223
海外食品事業	18,577	18,100	△ 477
外食事業	18,312	51,000	32,688
その他食品関連事業	62,718	63,600	882
調整額	△ 12,256	△ 14,800	△ 2,544
売上高	241,893	285,300	43,407
《事業セグメント別》			
香辛・調味加工食品事業	7,924	8,900	976
健康食品事業	1,398	1,600	202
海外食品事業	1,381	1,200	△ 181
外食事業	44	△ 250	△ 294
その他食品関連事業	101	750	649
調整額	△ 73	△ 1,200	△ 1,127
営業利益	10,775	11,000	225
経常利益	12,152	11,500	△ 652
親会社株主に帰属する当期純利益	22,632	7,300	△ 15,332
包括利益	12,787	-	-

《連結設備投資》

(単位：百万円)

	16.3期	17.3期 修正目標
設備投資	6,757	10,100
リース	503	400
合計	7,260	10,500

《連結減価償却費》

(単位：百万円)

	16.3期	17.3期 修正目標
減価償却費	6,908	9,300
支払リース料	369	600
合計	7,277	9,900